

松高小学校便り 第9号 発行者 田河正人

# 松高っ子



## 新年明けまして

### おめでと〜う〜ございます

令和四年（2022年）がスタートしました。皆様方、おだやかな年始を迎えられたことであるとお喜び申し上げます。

お陰さまで冬季休業中の交通事故やコロナ感染症の罹患等の報告もなく一安心しております。今年の元日は近年にないほどの快晴でしたので初日の出を拝まれた方も多かったのではないかと思います。私も明け方に自宅の庭に出て遠方の山から昇る朝日に手を合わせ本校児童・職員の安全と健康をお願いしました。本年も皆様方にとって実りの多い素晴らしい一年でありますことを願っております。

さて今年は「寅年」。漢字で書く場合には、干支の意なら「寅」、動物の意なら「虎」をあてるのが一般的だそうです。寅年は十二支の3番目で、春が来て根や茎が生じて成長する時期、草木が伸び始める状態だとされているとのこと。松高小の皆が成長できる一年になればと思います。

寅年ということで虎にまつわることわざや慣用句を紹介します。



- 虎穴に入らずんば虎子を得ず  
何事も危険を冒さなければ成功を収めることはできないというたとえ。
- 虎の尾を踏む  
この上もなく危険なことのたとえ。

■ 虎の子  
虎は我が子をとんでも大事にすることから、非常に大切なもの、貴重なものをいう。

■ 虎の威を借る狐  
権力や権勢のある人の力をかさに着ている人のたとえ。

■ 張り子の虎  
威勢を張って強そうに見せかける人。

■ 虎の巻  
芸事などの秘伝をしるした書や、講義などに用いる種本のこと。

キワードは危険、大切、強さ等のようです。意思を強く持ち、危険を早めに察知して命・健康を大切にしたいと思えます。

## 持久走大会

昨年の十二月中に各学年の持久走大会を実施しました。保護者の皆様方には寒い中に多数応援いただきました。コロナウイルス感染症が少しだけ沈静化している中での実施でした。

子供たちはたくさん応援の中でいつもより張り切って走っているようでした。熱心な応援ありがとうございました。



心の栄養となる言葉②  
糸がゆるむ。

琴も三味線もバイオリンも快適な音は出ない。  
人間も心がゆるむ。そこに調子の悪さが生まれる。  
面白いほど調子がよくなりたいたいと願うなら、心をいらだたせないこと。  
いつも明るく豊かに心に張りを持つことである。

常岡一郎（宗教家、文筆家）  
（人生心得帖 致知出版社より）

